【第九十号　二〇一二年　六月　五日発行】

福音の園®だより

平成十八年度「高年齢者雇用優良事業所　協会会長賞」受賞
TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材紹介

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
３５０－００１６　埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人　**福音の園・埼玉　事務局**
☎０４９－２３０－１１１１（FAX２３０－１１１２）

福音の園®、Gospelgarden®は　有限会社シャロンの商標

愛の手紙 ― 介護現場からの声

「肝苦（ちむぐ）りさの介護」を目指して

グループホーム　福音の園・川越　ホーム長　杉澤　卓巳

K・A様へ。

お母様が二〇一〇年〇月〇日にご入居されてから二年が経ちました。感慨深く思い返しております。

初めの頃、毎日のように「ホーム長さん、帰らせていただきます！」とコートの上からポシェットを下げて事務室へおいでになりました。また、一番激しかった頃、認知症ゆえだと思っていても普通の人が思い浮かばないような言葉を発して来られました。そのため、スタッフが胃痛を訴えて早退。そのまま病院へ急行したこともありました。他入居者と口論、手で小突かれ、転倒させたこともありました。幸い大事に至らずに済みました。「困った」の連続でした。

こうした場合、「業務上の介護」に徹する介護施設なら、入居契約書の一文を引き合いに「即刻退居」だったでしょう。けれども、「業務上の介護」の対極にある「**愛の介護**」を目指す私たちは（とりわけ管理者である私は）、毎月一回全員出席の研修会議において「**愛の介護**」に徹しようと高揚してまいりました。何よりも、お母様の生い立ち（生活歴）をスタッフ全員が熟知することに努めてまいりました。あの心の激しさはどこから出てくるのか。六〇代のスタッフでさえ胃痛に見舞われるような激しい言葉。そういう言葉が日常の会話に発せられる環境の中で生きてこられた。それだけ厳しい基準の視点で生きてこられたので、どうしても「厳しい自分の物差し」で人を見てしまわれる。

※　※　※　※　※　※　※

聖書の言葉を思い起こしています。

生まれつきの盲人を目の前にして、「どうしてこの人は、生まれつき目が見えないのですか。本人が罪を犯したからですか。それとも両親ですか」という因果応報の解釈に対し、主イエスは何の解釈もされずに一言、「**いや、そのどちらでもありません。ただ神の力が現されるためです**」と応えられました（新約聖書　ヨハネによる福音書　九・三）。

百人百様なご利用者様の生い立ち。皆さん戦中戦後の混乱の中、無我夢中で生き抜いてこられたに違いありません。生まれる時代は選べなかった。ご本人の責任ではないのですから、あるがままのお母様を受け入れるところから私たちが目指す「**愛の介護**」が始まりました。

本誌８６号と８８号で、『「肝苦（ちむぐ）りさの心―介護の原点」と題して、介護に疲れて苦しむ家族の痛み、認知症状により混乱するご本人の痛みを自分のこととして感じる「**肝苦りさの心**」こそ介護（福祉）に携わる者の心だ』と記しました。そして、期せずしてこの「**肝苦りさの心**」を、お母様の介護を通して実体験させていただくことができました。

※　※　※　※　※　※　※

国語学者の森島久雄氏は、現代の家庭や社会における話し言葉の大半が「用足し言語」に終始していることを指摘しています。つまり、言わなくても済むならなるべく言わずに済ませ、最低限の用足し言語で終わってしまい、人格と人格がぶつかり合うような対話が少なくなっていると。私たちが目指す「**愛の介護**」は、「用足し言語」に終始する介護ではなく、人格と人格とが触れ合うような対話を通して行われる介護です。お母様の言葉が「用足し言語」ではなく、「愛され、信頼され、そして信じる」という「魂の叫び」（精神的欲求）であり、対話を求めて投げている「変化球」だったと気付くのに二年かかりました。球威・球種があまりの「癖球（くせだま）」で捕球できなかったのですから、「捕球技術を磨く」ことでした。

「悩みながら経験値を積み上げていく」―これが私たち「福音の園・川越」の介護力（介護の実質）です。あの激しかった頃を思えば、今は本当に平安そのものです。お母様をはじめとして入居者の皆様、スタッフ共々、穏やかな日々を過ごしております。

「**逃げない介護**」「**愛の介護**」「**肝苦りさの介護**」を目指して、さらにみんなで精進してまいります。お気付きの点など、何なりとお寄せ下さいますようにお願い申し上げます。

敬具。

お知らせ―「福音の園・川越」基本理念・運営方針

一、（確かな援助技術に基づいた）心に触れる優しい支援の実践　二、（福音に基づいた）希望への支援の実践

①介護保険の基本理念「利用者（家族）本位」をめざす　②最期まで生き甲斐を支え続ける「看取り介護（看護）」をめざす　③マスロー・８つの欲求「生理的欲求と精神的欲求に応える支援」をめざす

来訪歓迎

ひかり純福音教会様（韓国　ソウル市）